



めざそう! 食肉の安全・安心!!

検査所だより

2022.3(vol.72)

宮城県食肉衛生検査所

開かれた食肉衛生検査所へ! 私たちは食肉衛生検査情報の還元を推進し、開かれた食肉衛生検査所を目指しています。生産者の方も食肉関連事業者の方も気軽に当所をご利用ください。

令和2年度業績発表会を開催しました

食肉衛生検査所では日頃の検査業務に加えて様々な調査研究に取り組んでおり、その成果を発表する場として業績発表会を開催しています。

今年度も令和3年2月17日、宮城県食肉衛生検査所会議室にて開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し、各関係機関から合わせて14名にご参加いただきました。



★今回の業績発表会では、新型コロナウイルス感染防止対策として三密を回避し、会場の換気、ソーシャルディスタンスの確保、参加者全員のマスクの着用と入場時の体調チェック&手指のアルコール消毒を行いました。皆様のご協力に感謝します。

震災から10年の節目となる今年は、東京電力福島第一原発の事故以来、食肉の安全を確保するため現在も当検査所で行われている宮城県産牛肉の放射性物質検査についての報告をはじめ、と畜場で見られる食肉の安全上問題となる疾病の調査、残留抗菌性物質に関する課題など、幅広い分野の8演題について発表が行われました。

会場では各演題で活発な意見交換が行われ、貴重な知見を共有する有意義なものとなりました。発表の詳しい内容は当検査所HPでご覧いただけます。



Pick Up!

裏面では今回の発表演題の中でも取り上げた“アニマルウェルフェア”について紹介します。ぜひご覧下さい。

業績発表に先立って ~食肉衛生検査所 佐々木隆一所長より~

本日はお忙しい中、各方面からお越しいただき誠にありがとうございます。

平成30年度の食品衛生法の一部改正に伴い、全ての食品事業者がHACCPに沿った衛生管理を取り入れることとなりました。当検査所も外部検証機関として、HACCPの効果的な運用がなされるよう努めていきたいと思っております。

また、昨今は日本各地で豚熱や高病原性鳥インフルエンザが継続して発生しており、他県では養豚場やと畜場で豚熱が摘発されていることから、効果的な防疫体制が構築されるよう、引き続き関係機関と連携を図っていきたく考えております。

本日は皆さまからの忌憚のないご意見やご助言を頂き、今後の業務に役立てて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



2021

と畜場のアニマルウェルフェアについて

アニマルウェルフェアとは「動物の生活とその死に関わる環境と関連する動物の身体的・心理的状态」と国際獣疫事務局（OIE）によって定義されています。

畜産分野において、適切なアニマルウェルフェアは家畜の健康維持のほか、肉質や生産性の向上に繋がることもあります。日本では2020年に開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックを機に家畜のアニマルウェルフェア改善に向けての取組みが積極的に行われていますが、畜産分野におけるアニマルウェルフェアの認知度は未だ低いのが現状です。

と畜場は家畜の生涯の最終ステージであり、ここでもアニマルウェルフェアに配慮した取扱いが求められます。例えば、農場で適切なアニマルウェルフェアで飼養されていても、と畜場への輸送時やトラックから降ろす際に動物を乱暴に扱うことで筋肉出血や骨折が生じた場合、それらはと畜検査で異常部位として排除されるため食品になりません。このような取扱いは家畜にとって苦痛になるだけではなく、人にとっても損失となるのです。

検査所におけると畜場のアニマルウェルフェアへの取り組みの1つとして、**プラスチックパドル**を提案しました。

振ることで音が出るこのパドルは音に敏感である豚の習性を利用して、トラックから豚を降ろすときなどに豚を強く叩くなどの過度なストレスを加えることなく誘導することを目的としています。また、写真のようにプラスチック製の容器の中身は木材のチップを使用しており、豚が誤食しても大事に至らないよう、また廃棄の際も比較的容易に分別できるよう配慮して作成しています。

このように、アニマルウェルフェアに配慮した取り組みは大がかりな施設の改修のような莫大な費用の投資が必須ではなく、アイデア次第で身近なリサイクル品を利用して、簡単なことから始めることができます。



中には木のチップが入っています

～編集後記～

今年度は新型コロナウイルス感染症に関するものをはじめ、世界的に激動の年となりました。時事などを踏まえ、食肉衛生検査所からの発信が少しでも皆様のお役に立てば幸いと思いながらの執筆でしたが、如何だったでしょうか。

今年度の検査所だよりは本号が最後となりますが、来年度からも、より良い「検査所だより」を目指して取り組んでいきますので、今後ともどうぞ宜しくお願いします。

震災から10年を迎え、新たな感染症の脅威に立ち向かいながら、これからも皆様と共に明るい未来を目指して踏み出していこうと思います。 担当：R.S

宮城県食肉衛生検査所

〒987-0311
宮城県登米市米山町字桜岡今泉314
電話 : 0220-55-3752
ファックス : 0220-55-4105
電子メール : shmeat@pref.miyagi.lg.jp



ご意見感想お寄せください